

補助金評価シート

区分	重点 重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	平成27年4月1日	終期	平成30年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	食の新潟国際賞財団補助金 食に関して国際的な貢献をした個人・団体を顕彰する「食の新潟国際賞」の選考などに係る経費の一部を運営組織に対して補助する。							
款・項・目	農林水産業費・農業費・農業総務費							
所属等	農林水産部 食と花の推進課 電話 025-226-1802							

年 度		27年度（1年目）	28年度（2年目）	29年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	5,000	5,000	5,000
	決算(千円)	5,000	5,000	5,000
補助率		10/10	10/10	10/10
目 標		<p>「食の新潟国際賞」を通じ、食に関する国際拠点都市として「食の新潟」の世界的な認知度向上を目指す。</p> <p><目標が数値でない場合の評価方法> 「食」に関する国際的、人的、組織的ネットワーク構築と情報の発信・集積及びその活用を効果的に行うことができたか。</p>		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	<p>第4回の受賞候補者の推薦募集を通じて、更なる情報の集積化を図るとともに、食の新潟国際賞の人材・企業ネットワークを活用し、「食の国際シンポジウム」「食の国際見本市」との連携で、「食」の情報発信を効果的に行うことができた。</p>	<p>第4回の食の新潟国際賞表彰式・セミナー等を開催し、農林水産省・外務省・各国大使館・学会・企業等から多くの参加者を得た。また、食の新潟国際賞の人材・企業ネットワークを活用し、「食の国際シンポジウム」「食の国際見本市」との連携で、「食」の情報発信を効果的に行うことができた。</p>	<p>第5回の受賞候補者の推薦募集を通じて、更なる情報の集積化を図るとともに、食の新潟国際賞の人材・企業ネットワークを活用し、「食と健康フォーラム」「食の国際見本市」との連携で、「食」の情報発信を効果的に行う。</p>
補助事業者による情報の公表	ホームページ			

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	×	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
×になった項目に対する今後の取組	<p><a～fにおける取組> 本事業は、2年で1期の取り組みであり、推薦募集・選考を行う準備年と、表彰式・講演会を行う事業年となっている。そのため、準備年で生じる繰越金は事業年の経費に充てるため、2年で1期の取り組みであることを踏まえると実質繰越金は生じていない。今後とも適正な経費執行に努める。また、補助率については、状況等を考慮して見直しの方向で検討する。</p> <p><g～hにおける取組> 「食の新潟国際賞」は、食に関する貢献や業績に対して顕彰するものであり、その賞を通じ「食の新潟」の認知度を高めるものだが、売り上げやイベントの参加者では認知度の把握が難しいため、数値目標は設定しない。</p>				
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
<p>① 拡充・改善 補助率、補助額、補助対象経費、その他 ② 継続 ③ 廃止</p> <p>①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 本事業は数値で評価できるものではなく、目標である「食の新潟国際賞」を通じ、食に関する国際拠点都市として「食の新潟」の世界的な認知度向上を目指す。そして本事業で集積した情報、構築した人材・企業のネットワークを活用し、ほかの事業との連携により産業への貢献と、市民向けに食と健康の情報発信に取り組む。</p>					